

婦人部方針

- 1、資本主義制度に於ける婦人の立場は二重の苦しみを負担してゐる。一は封建的遺制により他は経済的不独立のため。故に婦人問題の解決は無産階級運動たることに據つてのみ決定的解決は可能であり、同時に人類の過半を占むる婦人の積極的参加なくしては、又階級闘争は完全に遂行され得ない。別けても婦人労働者の組織率が極めて低度な苦處に於て婦人の啓蒙及び組織に對する組合婦人部の任務は特に重大である
- 2、婦人組織の活動に於いて大略列挙すれば
 - 1、教育闘争を充分に遂行する事
 - 2、婦人オクルグの養成
 - 3、婦人組合員の要求を敏捷に把へる事
 - 4、組合員家族との密接な關係を保つこと

- 5、未組織婦人に對する端初的な要求を親切に遂行すること
- 6、反動的婦人團體内のフランク活動
- 7、日常闘争に於ける男女労働者の協力一致とその訓練

政治部方針

- 1、凡ての經濟闘争は究極するところ政治闘争であり、今日の資本主義の段階に於ける階級闘争に綜合統一せらるる過程である。據つて如何なる部分的な經濟闘争も全般的な政治闘争との結合なくしては根底的に解決されない。
- 2、労働組合、労働者の経済的利益の一致點を基準とする極めて大衆的な組織体であり、低度な政治水準に立脚せるものである。故に労働組合の遂行する政治闘争は部分的な政治闘争に